


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【長野県】

学校名【信濃町立信濃小中学校】

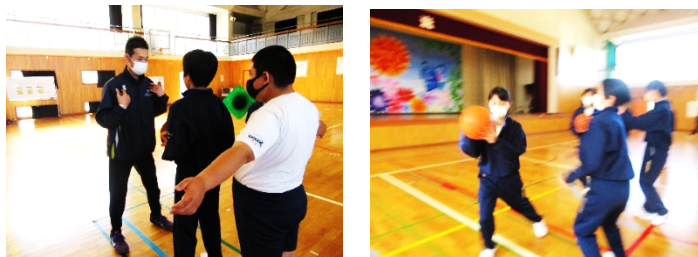
| | |
|--------------------|--|
| 1 実践テーマ | ①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤(複数選択可) |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 7年生54名 8年生55名 9年生62名 職員 12名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間・体育) ② 行事名(Shinano オリンピック 2021) |
| 4 目標 (ねらい) | ・オリンピック・パラリンピックへの出場までの経緯、フェアプレーやチームワークの精神など、児童生徒が自分自身の今後の生き方について考え、夢や目標に向かって努力したり、困難を克服しようとしたりする意欲を育てる。 ・オリンピック・パラリンピックの要素を取り入れた学習を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を培う。 |
| 5 取組内容 | <p>【①パラリンピック種目 ゴールボール体験】7年・特別支援：体育</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>※生徒の感想 ★普段の体育の授業では、友だちの声があると楽しめ落ち着くけど、ゴールボールをやって、声がすごく邪魔でした。鈴だけでボールを探すのは、すごく難しかったです。本当に何も見えなくて怖かったです。パラリンピックの競技が体験できて良かったです。今度は、障害がある人も、みんなが楽しめる競技をみんなでやりたいです。</p> <p>★最初、テレビとかで見ていると簡単そうだなと思っていたけど、いざやってみると、とても難しく大変そうでした。何も見えないので、本当に音が大切なんだなと思いました。こんなに難しいのをあんなに上手にできるのは、本当にすごいなと思いました。障害があってもなくても、みんながスポーツを楽しんでいるって、運動が好きなのは、うれしかったです。なので、私はオリンピックパラリンピックを同じに開催すればいいと思いました。</p> </div> </div> <p>【②Shinano オリンピック 2021】全校：行事</p> <p>・従来の運動会ではなく、コロナ禍の中でもできる運動会を児童生徒の手で創ろうと種目を考え、縦割り班で人数を分散して行った新しい運動会。オリ</p> |

ンピック精神に立ち返り、1～9年生まで誰でも楽しめるように、かつフェアな戦いになるように考えながら、6・7年が中心に計画し実施した。



【③信州ブレイブウォリアーズ 競技体験】7年：体育

・長野県内のプロバスケットボールチーム「信州ブレイブウォリアーズ」の指導を幅広く展開するU18ヘッドコーチ駒井和巳氏を講師に招き、7年生の生徒を対象にバスケットボールの動きのコツを教えていただいた。



・体験前、東京オリンピックの男女バスケットボールチームのプレーする姿を見て、強い興味を示す子どもたちの姿が見られた。

【④あすチャレ！ジュニアアカデミー 講師：馬島誠さん】

7・8・9年：総合的な学習の時間

・パラリンピアン馬島誠さんをお迎えし、生い立ちや障害、パラスポーツとの出会いや現在の車いす生活などをお聞きしたり、視覚障がいや聴覚障がいについて体験したりした。挑戦すること、大事にしていること、努力していること等、馬島さんが大切にしていることを感じることで、それぞれの生徒が明日につながる貴重な機会となった。



6 主な成果

②について

・自分たちで学年を越えて、全校生徒が楽しめる競技を考え、異学年交流を大切に競技を実施した。その結果、「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」というオリンピ

| | |
|----------------------------------|---|
| | <p>ック精神におのずと立ち返ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックパラリンピックが行われたことも含め、1年間様々なスポーツ交流事業を行ったことを通して、部活動や体育の授業だけではなく、日々の生活の中で自分たちにできることは何かを積極的に考えるようになり、身近な場面で自分たちでもできる運動や活動に意欲的に取り組むようになってきた。 <p>③について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロのバスケットボール選手として第一線で活躍してきた方の技術を間近に見たり、直接指導を受けたりしたことで、子どもたちがスポーツ選手への憧れを抱き、スポーツへの興味関心を高められるようになった。内容も楽しみながら活動できるように工夫され、ボール運動に苦手意識のある子どもたちも意欲的に取り組むことができた。 <p>①と④について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツに取り組む選手の苦勞や努力、パラリンピック競技への理解が深まった。パラリンピック選手との交流を行ったことで、障がい者に対する理解が深まったという内容が感想文に多く見られた。 ・障がいに限らず、身体や年齢など様々な個性の違いを越えて、共に力を合わせて生活しようとする心、他者を思いやり相手の立場を尊重しようとする心が育ってきている。 |
| <p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して障がい者スポーツという視点にこだわらず、アスリートが行うスポーツという視点で学習が展開できるよう工夫した。 ・普段の授業や活動から、男女差、学年差などを越えて活動できることを意識し、取り組むようにした。 |
| <p>8 主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から「コロナ禍」と言われる中、できないこと、制限されることが多くあり、学校行事の変更や教科の学習活動と関連付けることが難しかった。 ・今回、本校として初めてのオリパラ事業へ参加した。年間計画や体育の授業を含め、見通しをもって年間の活動計画を立てる必要がある。 ・一つ一つの活動は児童生徒にとって大変意味があったが、それぞれの活動が単発のものになってしまった印象があり、オリパラ教育を連続的な意識のもとで活動に取り組むことができたなら良かった。 |
| <p>9 来年度以降の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の成果と課題をまとめ、地元出身の元オリンピック選手との交流も考えながら、継続的な活動になるよう次年度に引き継いでいきたい。 ・オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料・映像資料や「I'm POSSIBLE」等の有効な活用を考えていきたい。 |